

明蓬館高校は2009年4月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。
 インターネットをフルに活用し、定期テストではなく成果物で学習を評価、年4日間安宅に宿泊しスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

10月のスクーリングはじまる

4月1日より本校に赴任して早、半年が過ぎました。
 自然いっぱいの川崎町安宅の地で、生徒達と春と夏を過ごしました。
 校舎の窓から見える四季折々の風景はその時々で表情で心も身体も癒してくれました。出会った鳥や虫や草花からは生命力をもらいました。
 地域の皆さまからは、知恵と元気パワーをいただいています。無事半年過ごせたことに感謝し、これから迎える本校での秋と冬を生徒達とじっくりゆっくり味わいたいと思います。
 さて、明蓬館高校の一大イベントスクーリングが10月1日（金）より4日（月）まで開催されます。全国の高校生達が本校で宿泊し学習します。
 美味しい空気と食。出会いと体験。わくわくドキドキ楽しみです。



以心田心・加工部の
 小山田会長方



彼岸花まつりでは、校庭に地域の皆さんの出店がたくさんありました。
 日野理事長はスクーリングの農家料理でお世話になっている「以心田心食品加工部」の栗おこわ・炊き込みご飯の販売のお手伝いをさせていただきました。
 校舎内では、本校の写真パネル展・スライドショーで学校紹介をしました。



手嶋町長と→
 国際箸学会小宮山社長

成田校長のお耳を拝借
 今校長ブログで、かつて読んだ本を取りあげています。主に昭和三十年代後半から四十年代に読んだものです。表紙も中味も大分色あせていますが、思いがけず自分の書き込みを見つけたり、赤で線を引っ張っているのに出会います。「なぜここに線を引いたのか」と考えこんだりしながら、やけに背伸びをし青臭かった青春時代に引き戻された気分になり、可笑しくなります。ことしの秋は、なにか格別な心地がします。

↓酷暑の影響でまつりから一週間遅れで、彼岸花が見頃になりました。遠方からたくさんの方がおみえになっています。



本校所属生徒 内訳 (H22.10月現在)				
川崎町	田川市郡	筑豊	その他	計
4名	1名	3名	5名	13名

←「**アタカフェー**」オープン
 本校 commons ペース（ホール）の一面にセルフサービスのコーナーが出来ました。
 一杯百円でウエシマのドリップコーヒーが楽しめます。

在籍状況 (H22.10月現在)				
	1年	2年	3年	計
男子	17名	6名	7名	29名
女子	15名	9名	9名	32名
計	32名	15名	16名	63名
前年同月実績 25名		前年同月比 2.52倍増		



校章のコンセプト

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

秋だけなわオープンスクールのご案内

今年度2回目のスクーリングでは、同時にオープンスクール（学校見学会）を開催しています。

入学を検討されている方々だけでなく、ぜひ本校のある安宅交流センターへ遊びにおいでください。

これから迎える季節、秋は特にお勧めです。自然の中で「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」を堪能しませんか。



9月初旬に川崎町戸谷にてりんごの収穫を行いました。明蓬館高校がオーナーになっている2本のりんごの木です。鈴なりのりんごを回転させて優しくもぎ取ります。甘酸っぱいりんごは、シナモンとレーズンを入れて巨大アップルパイに大変身。



10月スクーリングお楽しみの食事です↓
 地産地消と手作りにこだわっています。

コモンスペース大壁面と玄関口に世界的芸術家大塚抱節先生の書画が寄贈されました。明蓬館の看板も先生筆です。↑

校門前に小梅ちゃん自動販売機が出来ました。売り上げの一部は町に寄付されます。



	1日目(10/1金)	2日目(10/2土)	3日目(10/3日)	4日目(10/4月)
朝食	果樹園レストラン ラピュタによる		朝食バイキング(洋食)	
昼食	キッチンタカセ (本格派フレンチ) 「サンドイッチセット」	物産館 De 愛 (食品加工部) 「無添加おにぎり弁当」	キッチンタカセ (本格派フレンチ) 「チルドッグセット」	向山食堂 (赤坂小梅生家) 「小梅 助六弁当」
夕食	調理実習(家庭科) 「煮込みチーズハンバーグきのこソース」 「かぼちゃスープ」	果樹園レストラン ラピュタにて 「緑の中のハーブ パーベキュー」	以心田心 食品加工部による 「農家のおもてなし バイキング」	北九州空港～ 羽田空港

日野理事長のひすじ
 本校の本校にはこの4月以降本当におおせいの方々にお越しいただきました。全国各地から来られる方を拝見しているとある共通項が見つかります。それは、ときめき、ハートフル、明るい、ナチュラル、躍動的、リーダーシップ、芸術心、伝統と未来両眼思考、それらの要素を持つ方たちです。
 安宅(あたか)が持つ何かのパワーは全国に発信されつつあるように思っています。来年には、日本初のイベントが、当校本校のある、ここ安宅 交流センターで開催されることでしょう。

